

## モニタリングシート（院・生活福祉学専攻）

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
1	前年度の向上・改善施策の実施状況（成果・課題・継続事項）はどのような状況であるか。	点検・評価課題に対する向上・改善施策		特になし	今年度の FD で関連するテーマの研修を実施する。
2	定員充足の状況はどのような状況か。	定員充足率データ	2021 年度は 1 回生 1 名、2 回生 1 名の 2 名、2022 年度は 2 回生 1 名のみであった。2023 年度は在校生は 0 であった。	定員は充足していない。理由として、現職養護教諭が入学しても専修免許が取得できない点がある。	専修免許が取得できる環境を整える必要がある。
3	DP・CP と関連したカリキュラムが適切に設計されているか。	履修要項等の各種データ	現在 27 科目の特論、特別実習が開講されており、内容的にも多岐にわたっており、高度な専門性を身につけることのできる教育課程を体系的に編成している。非常勤の比率も 28% と適当である。	特になし	発達教育学研究科でのカリキュラムの枠組みを考慮する。
4	DP に沿って設定された各学位プログラムレベルにおけるカリキュラムについて、適切に実施されているか。	・履修状況等の各種データ ・大学院アンケート結果	アンケート結果からは適切にカリキュラムが運用できている、現在の各授業の質の引き続き担保していく	特になし	特になし
5	学修成果の到達度の把握はどのようにおこなっているか。	学修成果の把握の取り組み等 大学院アンケート結果	卒業時の論文・研究については、概ね DP を達成できている状況であるため、一定の質は保証できていると感じている	特になし	特になし
6	各科目の成績および論文・研究が適切に評価されているか。	・成績評価に関する取り組み等 ・大学院アンケート結果	アンケート結果からは適切に評価がなされている。	特になし	特になし
7	職位構成・年齢構成のバランス、非常勤比率に留意し、かつカリキュラムに基づく教員組織となっているか。	・所属教員の状況 ・科目群別非常勤比率	教授 4 名、准教授 2 名の 6 名の専任教員と非常勤より構成。非常勤比率は 28% である。	特になし	今年度の新任教員 2 名について、業績を精査して大学院教員とするかを検討中。

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
8	課題認識および外部環境を踏まえた独自のFD活動を実施できているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FDの取り組み状況</li> <li>・前年度点検シート</li> <li>・点検・評価課題に対する向上・改善施策</li> </ul>	昨年度は教員のICT能力を向上させるためにFD研修を実施し、一定の効果がみられた。ひきつづき、FD研修を計画する。	フィードバックの改善	今年度はシラバス作成に重点をおいてFD研修を学部教員と共に実施する計画を立てている。
9	上記以外で「継続すること」「課題」「次へのアクション」「全学レベルで検討すべき事項（提案）」があれば入力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種データ</li> </ul>	特になし	特になし	特になし